

様式1 記載例（選挙人→不在者投票管理者）

（この依頼書は、依頼を受けた不在者投票管理者が保管すること。）

依 頼 書

令和 6 年 10 月 27 日執行 衆議院議員総選挙について不在者投票をしたいので、

市

〇〇 町 選挙管理委員会から
村

投票用紙（船員の不在者投票用紙）及び投票用封筒の受領を依頼します。

（なお、点字投票をしたいので、あわせて）

必ず選挙人が自署すること（自署できないときは、補助者が記載し、その旨を明記しておくこと）。

令和 6 年 〇 月 〇 日

住所
氏名

〇〇市〇〇町〇〇番地
甲 山 乙 夫
昭和 〇年 〇月 〇日生

不在者投票管理者

ゴム印可。

△ △ △ △ 殿

この欄には、必ず不在者投票管理者がその都度記録しておくこと。

（顔 末 欄）

選挙人名簿登録の有無	選挙人名簿に記載されている住所		不在者投票事由	投票用紙等請求月日及び方法
有・無	住所に同じ		〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 (〇 号事由)	〇 月 〇 日 直接 郵便等
投票月日	投票の記載		投票送致等月日	立会人氏名
〇 月 〇 日	本人	代理投票	〇 月 〇 日	□ □ □ □
	〇	心身の故障 其他の事由		
代理投票補助者氏名			備考	△月△日 入院 □月□日 退院見込
整理番号	1	室名	203号室	氏名
				甲山 乙夫

注 意 (1) 顔末欄は、選挙人が記載しないこと。

【例1】選挙の当日、病院（老人ホーム）に入院（入所）しているため（2号事由）

【例2】歩行が困難で、自ら投票所に行くことができないため（3号事由）

「住所」の欄には、現在と異なる場合のみ下欄に記入する抹消すること。

を具体的に記入すること。

欄に〇印を記入すること。ただし、「代理投票」について、欄に該当するときは、具体的な事由を記載すること。

(5) 「備考」欄には、選挙人の状況等を具体的に記入すること。